

つなかつ

TSUNAGARI

No.33

題字：土屋 智広氏 (サンフレンド)



小牧市地区民生委員・児童委員連絡協議会

小牧市堀の内三丁目1番地 小牧市役所 福祉総務課内



「みどり台集いの会(サロン)の様子」

昨年一年を振り返りますと、日本各地で大きな地震や豪雨があり、多くの人命や財産等が失われました。

さらに、高齢者を狙った特殊詐欺や「闇バイト」を利用した犯罪が顕著になり、人道的に許せない事件等が後を絶ちませんでした。

このような社会状況の中で、今、切実に求められているのは、「共助」の精神だと思えます。災害時のみならず、日頃からお互いが助け合うという精神です。

人と人との関係を大切にし、優しさや思いやりを持って地域の人たちと接することができれば、子どもから高齢者までつながりを広げることができ、温かく優しさに満ちた地域を目指して活動していきたいと思います。

(文 広報委員)



はじめに

令和4年12月1日に「民生・児童委員」の委嘱を受け、はや2年が経過しました。

私たち、民生・児童委員の任期は3年です。残りの任期を、誰もが安心して暮らすことのできる地域づくりのため、尽力したいと思います。

今回は、こんな思いで活動している民生・児童委員の“生の声”を紹介します。

「民生委員になって」



南部地区民生・児童委員
山中 みちよさん

民生委員になって二期目です。一期目はコロナ禍と自分の体調が悪く、思うような活動ができず、正直言って引き受けた事を後悔したこともありました。周りの方のサポートのおかげで何とか乗り切ることができました。

二期目に入り、コロナも五類となり、自分の体調も良くなり、通常通りの活動ができるようになりました。

様々な活動をしていく上で、まずは自分自身が心身共に健康でなければ、人に寄りそう事ができないので、自分の健康を第一に活動していきたいと思っています。

楽しみがないとおっしゃっていた一人暮らし高齢者の方が、紹介したサロンに通って楽しく過ごしている様子を見て嬉しく思ったり、やりがいも感じています。

これからも身近な相談相手としてがんばっていきたいと思います。



「総合防災訓練に参加して」



味岡地区民生・児童委員
内山 康子さん

令和6年度小牧市総合防災訓練が岩崎中学校で10月20日に実施されました。地元住民や消防団員850名が参加し、ドローンも飛び盛大でした。私は民生委員として、バケツリレーに参加し、火災対応で効率の良い、バケツリレー方法を、等間隔に並び手早く運ぶ事の重要性を学びました。地震発生時にその場で身を守る体勢を取る「シエイクアウト訓練」。地震の際の安全確保行動「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練で一斉防災行動訓練ともいいます。物資運搬では小牧市と提携している佐川急便と日本通運のトラックから物資の手渡し訓練や、地震の揺れを体験できる車輪、心臓マッサージやAEDの使い方を、住民や中学生が熱心に学びました。

日頃から地域の連携が重要で、自助、共助、公助がかみ合って安心安全な町づくりにつながります。小牧市の9校の中学校で毎年順番で訓練が行われています。総合防災訓練は地元住民と中学生が協力し学ぶ場所。訓練を活かし若い世代に助け合う心が根つき、成長していくのがうれしく思います。

「ボランティアしてみませんか」



篠岡地区民生・児童委員
大堀 紀子さん

民生委員2年目の2018年より地域のサロンを始めました。

コロナ禍でサロンをお休みしましたが、2023年から再開し以前のように参加してもらえるか不安でした。

でも、開始時からボランティアでも手伝いして下さった方が、以前と変わらずスタッフとして協力して下さいました。参加者も以前からの方や新しい方のお陰でサロンが成り立っています。

小牧市には沢山のサロンがあります。サロンには参加者はもちろんお手伝いして下さるスタッフの協力も必要です。

年長者と共に子供から手が離れた少し若い世代の方にもサロンに関心を持っていただき、

まずは近くのサロンのぞいて、ボランティア活動に興味を持っていただけたら幸いです。



活動ピックアップ

訓練をやってみて

この安否確認訓練は3年目になります。1年目から徐々に参加者を増やしていき、3年目に自治会以外の方も参加できるようにゴミ袋によるサインに踏み切りました。同時に、避難行動要支援者の方には口頭または対面による安否の確認をしました。少しずつ賛同の言葉をいただけるとなりました。この活動をさらに多くの方々に知ってもらい参加したい。深く知ってほしい地域が深まれば嬉しい限りです。最後にこの活動が広まりつつあるのは昨年、今年、区長をはじめとする自治会役員として協力しておいた自治会長さん、会員様のおかげです。自治会の皆様からこそ貴重なご意見をいただきました。自治会メンバー以外の方も広めるきっかけができました。町内のたくさんの方々に感謝いたします。



自主防災担当 杉山さん
区長 西坂さん

東町区自主防災会

◎ 安否確認訓練の流れ ◎

自治会で安否確認グッズ(ゴミ袋など)をセットし、事前に配布

「大規模災害(地震の発生)」と仮定

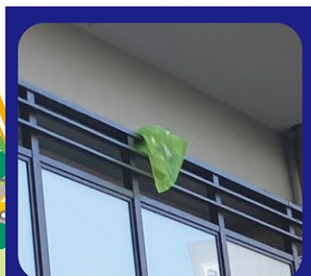
自身の状況に合致している色のゴミ袋を玄関やベランダへ掲示

「支援者」が“安否確認”のために、担当エリアのゴミ袋の色を確認

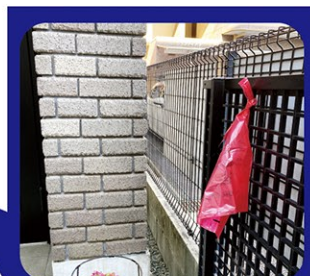
緊急要請・救助(赤袋と緑袋)

緊急要請・医療(赤袋と白袋)

地域の
災害対策本部
に報告



無事(緑袋)
～他の人を助けてあげて(共助)～



困っている(赤袋)



【東町区】安否確認訓練
東町区で区民(避難行動要支援者含む)を対象に、万が一の地震発生時に備えて、安否確認訓練が行われました。

避難行動要支援者台帳

災害の発生やその恐れがあるときに、自力で避難が難しい高齢者や障がいのある方などの名簿です。

その名簿を避難支援者となりうる方と情報共有することで、発災時に少しでも支援できる可能性を高めようとする取組みです。



※避難行動要支援者制度を活用
※制度の概要は次ページを参照

■避難行動要支援者とは

小牧市では次の方を対象とします。

- ①介護保険における要介護度3以上の認定者
- ②身体に障がいがある方(身体障害者手帳1級〜3級をお持ちの方)
- ③知的障害がある方(療育手帳A、Bをお持ちの方)
- ④右記以外で、自力避難が難しい方(ひとり暮らし高齢者・高齢者のみ世帯等)

■支援を受けるには

地域団体等への情報提供に同意される方は、「避難行動要支援者情報提供希望者調査票(兼申請書)」により直接、小牧市福祉総務課まで申請をしていただくか、地域の民生委員・児童委員にご相談ください。避難行動要支援者台帳に情報をまとめて、地域の支援者となりうる方に提供します。



※この制度は災害時の状況によっては、支援者も被災者となり得ることから、災害時の支援が必ずしも保証されるものではありません。
※支援者は、避難支援に関して、その責任を伴うものではありません。

【問合せ先】

小牧市福祉総務課 ☎76-11196

ま ち の 声

「つなぎ役」として



篠岡地区民生・児童委員
木村 慎一さん

民生委員として5年が経ちました。桃花台は、1980年入居より44年経過し、古雅4丁目は、最初の入居地域です。そして、65歳以上の高齢化率が3割と高いのが現状です。少子高齢化、家族構成の変化があり、地域で支えあうことが求められています。特に、通院、買物等の外出に困る事が多いです。今年の4月より、移動スーパースタートして好評のようです。

しかしながら一人暮らしの方が多くても、人に迷惑はかけられないと声を出す方が少ないです。身近な相談相手として、支援へのつなぎ役を確立していきたいと考えています。



二年間活動して



北里地区民生・児童委員
長谷川 真爾さん

令和4年12月に、民生委員を委嘱されました。まだ、別の役職の途中でしたから、少し驚きました。今年、九州の施設にいた母が亡くなりました。92才でした。網膜色素変性症(視野が時間をかけて徐々に狭くなる)で目が見えませんが、要支援2までしか認定されず、このままでは生活できないだろうからと、何度も説得しました。それでも、なかなか家から離れたがらず、私が無理に施設に入れたようなものです。家にいるときは、ケアマネジャーさん、ヘルパーさん、デイサービスの皆さん、民生委員さん、ご近所の方々にお世話になりました。それはもう、言葉では言い尽くせない程です。

自分も今回のような機会がなければ、気付けなかった役職です。これからも、地域の皆さんのためになるよう努めていきます。

